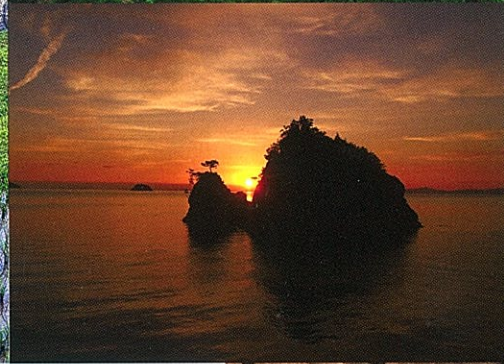




オリーブライフ 小豆島

SHODOSHIMA

煌めく海、瞳輝く、実りのまち

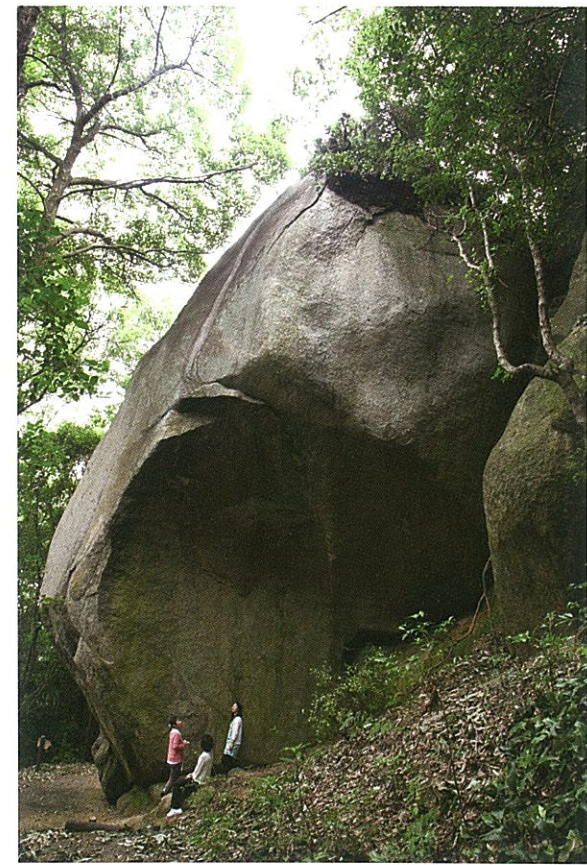


風 SHODOSHIMA

瀬戸内海国立公園の中心的存在をなす寒霞渓は、日本の三大渓谷美の一つに数えられている名勝地で、その歴史は古く、応神天皇が鉤をかけて登った「鉤掛山」という名前が転じて「寒霞渓」と呼ばれるようになったとも伝えられています。200万年の長い年月という芸術家の手によって削り上げられた奇岩・怪岩、人を寄せ付けぬ断崖は大自然の不思議さ、偉大さを目の当たりにさせてくれます。表12景・裏8景からなる登山道の風景は必見で、特に岩と岩の合間を抜けて山頂まで続くロープウェイからは、溪谷美と海岸美の両方を心ゆくまで堪能することができます。



寒霞渓ロープウェイ ☎0879-82-2171
年中無休 片道750円 往復1,350円



天狗岩丁場にある大天狗岩

悠久の年月が作り上げた巨大な芸術品

揃えた売店やレストランもあり、展望台からは、海・山・空の雄大な景観をゆつくりと楽しむ島内随一の観光スポットとなっています。



四方指展望台
美しい原高原にある標高777mの展望台で、360°を見渡すことができます。ここから見る朝日の素晴らしさは格別なものがあります。島内にはその他にもたくさんの朝日・夕日のスポットがあります。

世界最大級の大坂城石垣を支えた島石

徳川大坂城の石垣は、17世紀における世界最大級の石造文化遺産といわれ、巨大で規格化された大量の石材を必要としたことから、戦国大名たちは小豆島をはじめとする瀬戸内海の島々等に丁場を拓き、石を切り出し、大坂の地へ運びました。石垣には小豆島の丁場跡にある黒田家の刻印と同じものが刻まれており、小豆島の石が築城に使われた確かな証となっております。



瀬戸内海に浮かぶ

オリーブの島

輝く海を渡る地中海からの風

まるで地中海を思わせるような海の色が目に映る瀬戸内海。そこにはオリーブの緑が目にまぶしい、自然に満ちあふれた美しい島が存在する。ここは神様が創られた島…



「道の駅」小豆島オリーブ公園 ☎0879-82-2200 年中無休 入場無料

「生命の木」を育む自然 失われかけていた 楽園がここにある

瀬戸内の蒼く澄んだ海に浮かぶ、美しい小豆島。降りそそぐ太陽の光と爽やかなそよ風、きらめく緑が島を優しく包んでいます。国生みの神話時代からの長い歴史を持つこの島は、今では失われつつある豊かな自然がいたる所に残されていて、島内には四季折々の美しい花が咲き、長い歲月をかけて自然の手が削り上げた素晴らしい景勝地が各所に存在しています。また1908年に日本で初めてオリーブの栽培が始まった「日本のオリーブ発祥の地」として、小豆島を語るにはオリーブが欠かせません。町内の道沿いにはオリーブに関係した施設があり、その二帯はオリーブの丘と呼ばれ、オリジナル商品やお土産の販売、レストランや天然温泉なども併設され、誰もが楽しめる複合施設となっています。



内海湾に面した地域では、オリーブの木をたくさん観ることができます。緑鮮やかなオリーブ並木の中を柔らかな海風が吹き抜け、まるでヨーロッパ地中海のような雰囲気が漂います。

オリーブ園 ☎0879-82-4260 年中無休 入場料無料

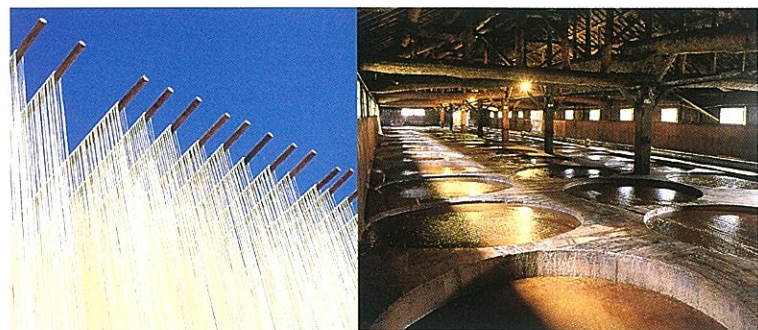
アートから生まれる 新たな物語

瀬戸内海の島々で開催された瀬戸内国際芸術祭により、小豆島に新たな風が吹き始めました。アートが小豆島の文化や生活に溶け込み、島独自の風景を生かし、そこでしか表現できない作品を展開することで新しい価値を生み出しています。作品を介して人と人との交流が生まれ、それをきっかけに、島に暮らす人々や小豆島自体が活力を取り戻し、島の将来の展望につながるような取り組みがなされています。

大らかな海と大地 自然との一体感に感動

地中海を思わせる穏やかな紺碧の海はシーカヤック、海水浴、釣りなど多岐にわたって楽しめる、シーズン中には家族連れや多くの人で賑わいを見せます。





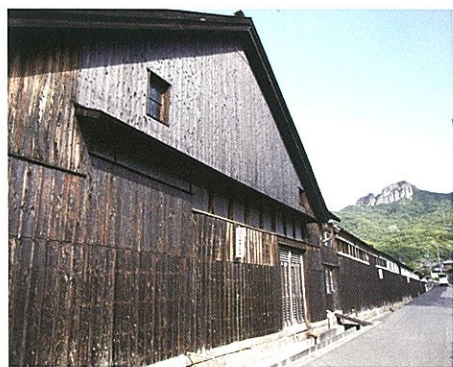
美しい海と明るい太陽、温暖な気候に恵まれた小豆島にはたくさん味の覚と特産品が揃っています。中でも特筆すべきものは醤油と佃煮でしょう。古くから良質の塩の産地であり、恵まれた海運などの好条件のもとで生まれた「小豆島の醤油」は、約400年の長い年月、人の手から手へと伝えられてきた伝統の技が生かされ、まろやかな風味と深い味わいで多くの人に愛されています。戦後は醤油を使った佃煮製造も始められ、どちらも小豆島の誇る名産品となっています。苗圃周辺には今も昔ながらの醤油・佃煮工場が軒を連ね、香ばしい醤油の香り漂う「醬の郷」の街並みを見ることが出来ます。

全国でも有数の産地となっている小豆島の「手延そうめん」は昔ながらの手仕

「匠」の技が息づく 日本を誇れる味覚

事で、手間暇かけて作られたそうめんは正に匠の秘技の息づく名品。天日で乾燥させながら、長い箸でほぐす「箸分け作業」は小豆島の風物詩でもあり、真っ白な絹糸のようなそうめんが並んで干されている姿が青い空に美しく映えます。

また、オリブ産業では、オリブオイルだけでなく、塩蔵や葉を使ったお茶のほか、化粧品やオリブ染めとして、また近年ではオリブ・アマチやオリブ牛の飼料など、様々な形で利用されています。小豆島のオリブ製品の高い品質は、100年以上、オリブと向き合ってきた「小豆島のオリブ」だからこそ造ることが出来るものなのです。



小豆島の秋祭りは勇壮な太鼓祭。赤い布団太鼓や屋根に人形や動物を載せた太鼓など、それぞれ独自のものが見られます。10月11日から順に8カ所の八幡神社で行われる祭の行事はそれぞれ特徴があるので、地区ごとに見比べてみるのも楽しいでしょう。(写真は神浦地区のオシコミ)



歌舞伎舞台をはじめ衣装や道具、さらに上演する人までが昔ながらに全て揃っているところは全国でも小豆島以外には、数カ所しかありません。演者と観客が一体となり、島民が参加するという独自のあり方が長く続けられています。

古の農民の心に触れる 「農村歌舞伎」

約300年前から小豆島各地で行われていた農村歌舞伎、かつては20カ所以上の常小屋があり、農民の娯楽として親しまれていました。現在では中山と肥土山の2カ所に残されている舞台で毎年さらびやかに上演されています。「わりご」弁当で酒を酌み交わしながら楽しむ地域ぐるみの行事です。



心なごも 懐かしい場所

変わったぬものがここに
ある



田んぼのあぜ道でたいまつを持って虫を追い、豊作を願う「虫送り」。



誰もが心に持っている 日本原風景

子供の頃、道草をして怒られながら学校へ通った通学路、かくれんぼをした路地裏、遊び疲れて帰る頃に近所のおばちゃんから声をかけてくれる、そんな懐かしい思い出。この島には、そんな懐かしくて大切な風景、大切なものが残されています。

いつまでもこの景色を守り続けていくことが、小豆島の心を守っていくこと。ふと街角にたたずんで振り返ってみると、そこかしこで遊び、笑い、毎日が輝いていた子供の頃の自分を見たような気持ちになつてしまふ、それがこの島の魅力なのではないでしょうか。



再現された小説の世界 小さな懐かしい映画の村

「二十四の瞳」の作者 壺井栄は多くの文人を生み出した小豆島の中でも最も有名な作家です。女性教師と12人の子供たちの美しく素朴な物語は、世代を超えて今も多くの人に愛されている作品で、何度も映像化されてきました。小説の舞台になっている、懐かしい昭和初期の街並が小豆島にはまだたくさん残されていますが、映画のロケ用で作られた街並のオープンセットをそのまま「二十四の瞳映画村」として生まれ変わらせ、当時使われていた生活道具や古井戸、お地藏さんなどもそのままに、海岸沿いに小さな漁村が再現されています。



映画「二十四の瞳」のロケに使ったオープンセット。昭和を再現し、懐かしいスター達に出会えるキネマの庵「ギャラリー-日本映画黄金期1950」等があります。 営業時間 9:00~17:00 年中無休 ☎0879-82-2455



厳かに、きらびやかに 守り継がれた伝統

瀬戸内海に浮かぶ美しいこの島には、守り継がれてきた歴史と文化、伝統が数多くあります。「島四国」と呼ばれる八十八ヶ所巡りは、四国八十八ヶ所とほぼ同時期に開設され、岩場や海辺、村落の外れにある霊場は変化に富んだ景観を持つ「修行」のコースとしても知られています。島外からの参拝者も多く訪れています。

秋がやってきて稲穂が黄金色になる頃には、豊作を感謝する秋祭りが島の各地で行われます。どの地区も太鼓を奉納し、かけ声も勇ましく妙技を競い合います。また、内海八幡の「轍さし」や亀山八幡の「オシコミ」は珍しく見応えがあります。



安易に人を寄せ付けぬ岩場や海辺、山岳地域にある霊場を巡る島四国八十八ヶ所でしたが、今では道や道標が整備されて歩きやすく、霊験あらたかとあって一年を通して多くのお遍路さんが訪れています。一つの霊場に種類ずつ種類の違う桜が植えられており、さめぎ百景に選ばれている霊場も多くゆっくりと巡るコースになっています。

道の駅 大坂城残石記念公園

大坂城修築のために切り出された石を中心に整備された公園内に、石の搬出方法や古文書などを展示しており、小豆島の石文化がよくわかる。
無料 ☎0879-65-2865



銚子溪 お猿の国

顔付けされた温和な気性の猿が群れ遊ぶ動物自然公園。世界の猿園もあり、家族で楽しめる。小豆島の始祖を祀る大野手姫神社、銚子の滝、仙多公峰等の景勝地もある。 ☎0879-62-0768



平和の群像

郷土の生んだ作家、壺井栄の不朽の名作「二十四の瞳」に登場する子どもたちと大石先生のブロンズ像。平和と幸せを求める永遠の願いを込めて昭和31年に作られた。土庄港前



尾崎放哉記念館

自由律俳句の天才尾崎放哉とその関係者の貴重な直筆資料等を展示した記念館。直筆句稿274点をはじめとする貴重な資料を収蔵した資料館は土庄町立図書館隣地にある。 ☎0879-62-0037



中山千枚田

湯船の名水を水源に急峻な山腹に広がる棚田は、大小さまざまな約800枚の田が波形を描いて連なり、「日本の棚田百選」に指定されている。南北朝から江戸時代にかけて作られたと考えられている。



道の駅・海の駅 小豆島ふるさと村

ファミリープール、物産販売コーナー、オートキャンプ場、ロッジ、釣り桟橋などその他にも様々な施設が充実しており、豊かな自然環境の中で多目的に楽しめる。 ☎0879-75-2266



小豆島手延そうめん館

そうめんの製造工程の見学や箸分け作業の体験、作りたての手延そうめんが味わえるコーナーなどがある。島の名産を多数揃えた販売コーナーも充実している。 ☎0879-75-0044



誓願寺の大ソテツ

小豆島八十八ヶ所第三十一番誓願寺内にある、樹齢500年以上の大ソテツ。高さ2m周囲が6m余りもあり一本の株から無数の枝を伸ばしている。樹勢の旺盛さと巨大さで日本一と言われ、大正13年に国の天然記念物に指定された。



長崎のしし垣

三都半島の長崎には、猪や鹿に畑の作物を荒らされて困った農民が江戸時代中期に築いた島を巡る120kmもの石塁・土塁の一部分が残っている。天気によれば淡路島・大鳴門橋まで見える絶景スポットにもなっている。



SHODOSHIMA

見どころにあふれた小豆島には様々なお勧めスポットが存在しています。豊かな自然・長い歴史・郷土食・伝統など、ここでしか味わえない魅力を余すことなく楽しんでください。

ROAD MAP

小豆島ロードマップ



大坂城石切丁場跡残石群

昔から石材産出が多い小豆島には、大坂城を修築するために石材を切り出した丁場が数多く残されている。約350mにわたって整備された天狗岩丁場遊歩道のほか、八人の石工が犠牲になった悲しい言い伝えが残る八人石がある。

美しい原高原 四方指展望台

四季折々の花々が咲き乱れる美しい原高原にある。標高777mの展望台は、四方を指しても遮るものがないということで四方指と呼ばれる。天気がよければ瀬戸大橋、大鳴門橋も一望できるパノラマが目前に広がる。



醤油の郷

小豆島は醤油・佃煮産業が盛んで、全国でも生産高の上位を占めている。なかには明治時代に建てられた工場もあり、風情のある街並を形成している。工場見学や体験のできるところもある。



道の駅 小豆島オリーブ公園

オリーブに囲まれた園内には、記念館や宿泊施設、ハーブガーデンなどの施設が充実。オリーブの搾油体験やハーブクラフトが楽しめる。青い海とのコントラストが美しいギリシャ風車は絶好の撮影スポット。 ☎0879-82-2200



サン・オリーブ温泉

天然温泉を利用した露天風呂・ハーブ風呂・サウナなどが充実している。目の前に広がる青い海を眺めながらの入浴で、身も心もリラックスできる。 ☎0879-82-2200



岬の分教場

小説「二十四の瞳」の舞台となった田浦分校が、昭和46年の廃校後もそのまま保存され、一般公開されている。教室には当時の机やオルガン、教材などがそのまま残されている。 ☎0879-82-5711



壺井栄文学館

映画「二十四の瞳」のオープンセットとして使われた映画村の中にあり、かつて栄が住んでいた自宅の一部を再現し、愛用していた調度品や各作品の生原稿などを展示している。 ☎0879-82-5624



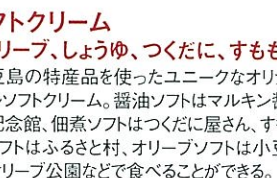
文学碑

小豆島は文化・芸術の盛んな土地であり、壺井栄を始めとして多数の文人・詩人を輩出し、優れた作品を世に残している。また外部からの来訪も多く、各地に足跡を残している。島内各地にゆかりの文学碑や句碑が残されている。



ソフトクリーム

(オリーブ、しょうゆ、つくだに、すもも) 小豆島の特産品を使ったユニークなオリジナルソフトクリーム。醤油ソフトはマルキン醤油記念館、佃煮ソフトはつくだに屋さん、すももソフトはふるさと村、オリーブソフトは小豆島オリーブ公園などで食べることができる。

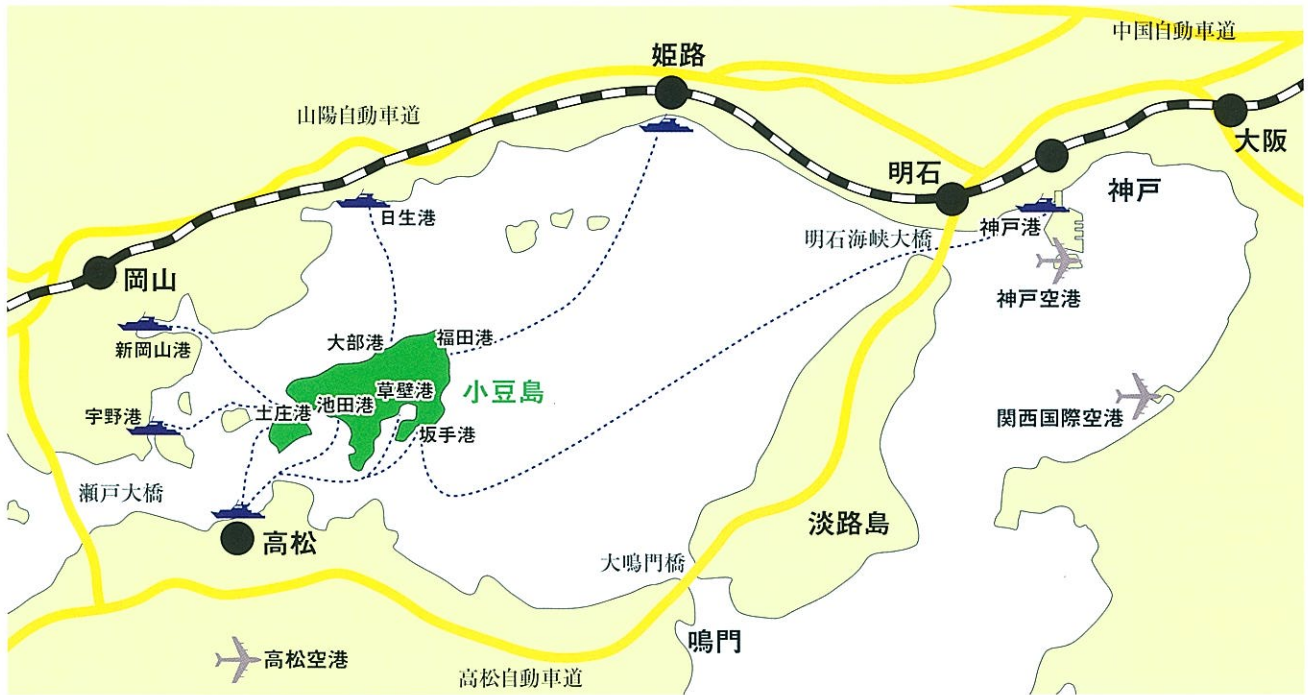


小豆島の秋祭り

| | |
|--------|------------------|
| 10月11日 | 葺田八幡神社 (小豆島町葺田) |
| 13日 | 伊喜末八幡神社 (土庄町伊喜末) |
| 14日 | 土庄八幡神社 (土庄町大木戸) |
| 15日 | 富丘八幡神社 (土庄町洲崎) |
| 15日 | 内海八幡神社 (小豆島町馬木) |
| 16日 | 池田亀山八幡宮 (小豆島町池田) |
| 18日 | 家浦八幡神社 (土庄町豊島) |
| 21日 | 唐櫃八幡神社 (土庄町豊島) |



ACCESS 【小豆島へのアプローチ】



○東京方面から

JR東京駅(新幹線で3時間20分)→岡山→新岡山港(フェリーで1時間10分)→小豆島・土庄港まで

JR東京駅(高速バスで約11時間)→高松港(フェリーで1時間)→小豆島・土庄港、池田港、草壁港、坂手港まで

羽田空港(飛行機で1時間15分)→高松空港(バスで45分)→高松港(フェリーで1時間)→小豆島・土庄港、池田港、草壁港、坂手港まで

○関西方面(神戸・姫路)から

神戸港(フェリーで3時間10分)→小豆島・坂手港まで(夜間便は高松を経由します)

姫路港(フェリーで1時間40分)→小豆島・福田港まで

○岡山方面から

新岡山港(フェリーで1時間10分)→小豆島・土庄港まで

宇野港(フェリーで1時間30分・豊島)→小豆島・土庄港まで

日生港(フェリーで1時間)→小豆島・大部港まで

○四国方面から

高松港(フェリーで1時間・高速艇で30分~45分)→

小豆島・草壁港、池田港、土庄港、坂手港まで



小豆島航路問い合わせ先

平成26年11月現在

| 航路 | 日生~大部 | 姫路~福田 | 岡山~土庄 | 高松~土庄・池田・草壁・坂手 | 神戸~坂手 | 宇野~土庄 | 豊島唐櫃~土庄 | 豊島家浦~土庄 |
|--------------|----------------------|----------------------|-----------------------|--|---|-------|----------------------|---------|
| 各港お問い合わせ電話番号 | 日生港 ☎0869-72-0698 | 姫路港 ☎079-234-7100 | 新岡山港 ☎086-274-1222 | 土庄港 ☎0879-62-0875 池田港 ☎0879-75-0405 草壁港 ☎0879-82-1080 坂手港 ☎0879-82-2222 | 神戸予約センター ☎078-327-3322 坂手港 ☎0879-82-2222 | | 土庄港 ☎0879-62-1348 | |

小豆島花暦

| 花名 | 見処 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------------|-----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| ミモザ | オリーブ園 | | | | | | | | | | | | |
| 菜の花 | 二十四の瞳映画村 | | | | | | | | | | | | |
| コバノミツバツツジ | 寒霞溪 | | | | | | | | | | | | |
| ショウドシマレンギョウ | 寒霞溪 | | | | | | | | | | | | |
| オリーブ | 小豆島オリーブ公園・オリーブ園 | | | | | | | | | | | | |
| ラベンダー | 小豆島オリーブ公園 | | | | | | | | | | | | |
| 向日葵 | 二十四の瞳映画村 | | | | | | | | | | | | |
| ジャスミン | オリーブ園 | | | | | | | | | | | | |
| コスモス | 二十四の瞳映画村 | | | | | | | | | | | | |
| 紅葉 | 寒霞溪 | | | | | | | | | | | | |
| 椿 | 小豆島ふるさと村 | | | | | | | | | | | | |

お問い合わせ

小豆島町商工観光課・小豆島町観光協議会・オリーブナビ小豆島

TEL:0879-82-7007 FAX:0879-82-7017 URL:<http://www.town.shodoshima.lg.jp/> E-mail:olive-shoko@town.shodoshima.lg.jp